

岡山県新見市

●岡山県新見市

贈呈理由

安全で快適なまちづくりを目指し、
高効率ヒートポンプ・蓄熱システムを採用



新見市役所

岡山県の最西北端に位置する新見市は、情報ネットワーク化に熱心に取り組んでいる地方都市である。2002年には市長・市議会議員選挙で、全国初となる電子投票を行い、話題を集めた。

全戸を光ファイバで接続する「ラストワンマイル事業」や「ICT活用教育推進事業」を展開、モデル校の全児童・生徒にiPadを配備するなど、情報文化都市へと「新」化している。

高効率システムを積極的に導入

同市では早くから、省エネおよび電力負荷の平準化と低炭素社会の実現に積極的に取り組んでおり、ヒートポンプ・蓄熱システムの導入実績が多数ある。06年には新見保育所増築にあたり、空調設備に割安な夜間電力を利用して昼間のピーク電力の低減を図るエコ・アスを導入したほか、子どもたちが安心して過ごせるよう蓄熱式電気床暖房を採用した。この地方は冬場の底冷えが厳しく、直接床にふれることの多い乳幼児にとって、足元からポカポカと温ま

る「頭寒足熱」の蓄熱式電気床暖房は理想的である。操作性も高く、自動運転なので職員が早く来てストーブを点けるなどといった手間もなくなり、大幅な労力削減につながっている。

給湯システムには蓄熱式給湯システムを導入。使用時の音がなく静かなため、子どもたちが安心して昼寝ができると職員に喜ばれている。

厨房設備は安心・安全な食事を提供することを第一に、衛生管理が容易な電化厨房を採用した。同保育所は、空調・給湯・厨房あわせて経済性に優れ、省エネにつながる高効率システムを採用している。

環境負荷の少ないまちづくりを推進

11年に新築された養護老人ホーム「和みの郷かなや」へもエコ・アス、蓄熱式給湯システムを導入、省エネ・省コスト・省CO₂を実現した。厨房設備には電化厨房を採用し、熱源をすべて電気でもかなうことで施設全体のランニングコスト削減を実現している。経験

豊富なベテランと元気で明るい若手スタッフが力をあわせ、心のこもった介護サービスを提供している。

同市は省エネおよび電力負荷の平準化、ランニングコスト低減、CO₂排出量削減に向けて大きな役割を果たそうとしている。限られた資源やエネルギーを有効活用し、環境への負荷が少ないまちづくりを計画している。

主な蓄熱システム導入実績

新見保育所

2006年増築
エコ・アス(セントラル) 50馬力相当×1台(三菱電機) 蓄熱槽:21m³、床暖房(床暖房面積671m²)
エコ・アス mini 7馬力相当×1台(三菱電機)
蓄熱槽:0.4m³
ヒートポンプ式給湯 20馬力相当×1台(三菱電機)
蓄熱槽:6.5m³
蓄熱式電気床暖房 18馬力相当×1台(ダイキン工業) 床暖房面積 345m²

新見市養護老人ホーム「和みの郷かなや」

2011年新築
エコ・アス(個別分散) 10馬力相当×3台/13馬力相当×2台/16馬力相当×2台(三菱電機)
業務用エコキュート 40kW×2台(三菱電機)
貯湯槽:16m³
電気温水器 200ℓ×5台

新見公立大学

2012年増築
業務用エコキュート 15kW×3台(日立アプライアンス) 貯湯槽:3.3m³
エコキュート 6kW×1台(日立アプライアンス)
貯湯槽:0.4m³